

社団法人 熊本県建設業協会菊池支部 安全推進事業

平成18年6月21日実施

「平成18年度 安全大会」を実施



開会挨拶：荒木支部長



模範KY活動



×クイズ大会



安全宣言

菊池支部では、平成18年度の安全推進事業として、去る6月21日（水）会場を大津町に移し、第8回目となる安全大会を実施した。

会場となった大津町文化ホールには菊池支部をはじめ大津建設業組合から参加者が集い総計約400名が来場。

安全大会は黙祷の後、荒木典之支部長から「業界を取り巻く環境は依然として厳しい状態であり、安全なくして経営は成り立たない。この安全大会を通して安全第一を再確認し、労働災害

を未然に防ぐことが出来るよう支部会員全員参加で取り組んでいかなければならない。嬉しいことに本県の労働災害による死亡者が過去2番目に少ない結果となり死傷者数も過去最も少ない数となっている。これも皆さんの安全への認識が高まった結果ではないかと思う。」旨、開会の挨拶をおこなった。

来賓挨拶には邊春菊池労働基準監督署長、石松大津警察署交通課長、中村菊池地域振興局長が演壇に立ち「菊池管内の労働災害は増減を繰り返している。現場で作業する者みな危険を予測し安全確保しながら作業を進めていただきたい。」旨、安全管理活動のなお一層の推進を訴えた。

続いて菊池労働基準監督署堀尾第2方面主任監督官が演壇に立ち安全講和。

模範KY活動には株式会社緒方建設の5名による、現場における危険箇所確認と安全対策についての検討方法等を模擬実演。

毎回恒例となった来場者全員参加による安全×クイズでは、労働基準法・規則など安全に関する法規からの設問や一般常識等からも出題され、優秀者には豪華商品が贈呈された。

最後に菊池支部労務安全委員会池田委員が支部を代表して安全宣言（別紙参照）を読み上げると共に、来場者全員が安全な職場づくりを誓い合っていた。

安 全 宣 言

災害のない安全な職場をつくりあげていくためには、私たちが、労働者の安全確保は、自らの責務である事を強く認識し、災害防止の決意を明らかにして、積極的に安全管理活動を展開すると共に、これに対応して労働者一人一人が、安全は他から付与されるものでなく、自らの努力により得られるものであるとの認識を持ち、積極的に安全の問題に参画する事が必要です。

今年の全国安全週間のスローガンは

「 全員参加でリスクの低減 確立しよう「安全文化」 」

と定められました。

我、建設業協会菊池支部においても、

死亡・重大災害ゼロを目標に、

- 一、 作業場内の整理整頓
- 二、 朝のkyミーティングの徹底
- 三、 墜落、転落災害・ 建設機械、クレーン等災害・
倒壊、崩壊災害等の三大災害絶滅・ 安全運転の徹底

以上、三つのスローガンをかかげる事にしました。

この安全大会を契機として、それぞれの職場において、労働災害防止の重要性についてさらに認識を深め、事故防止の観点から、安全管理体制の強化、設備の充実等をはかながら、安全な職場づくりのために、今後一掃の努力を続けることを、ここに宣言します。

平成一八年 六月 二十一日

(社) 熊本県建設業協会
菊池支部